

活性化、大きなうねりを

茂原 長生地域再生で活発議論

まちづくりフォーラム

茂原市役所市民室で22日夕、「第1回長生地域まちづくりフォーラム」が行われた。農水省大臣官房政策課の山口靖上席企画官が講演したほか、地域再生についての議論が交わされた。



活発な議論が交わされた長生地域まちづくりフォーラム
=22日、茂原市役所市民室

フォーラムは、NPO法人長生地域まちづくりステーション(大柿恵司理事長)が主催。当初、地域再生・活性化の分野で有名な木村俊昭さんが講演を行う予定だったが、北海道知事選に立候補を表明したため中止となり、木村さんの農水官僚時代の上司に当たる山口上席企画官が『できない』を『できる!』に変える人づくり』をテーマに講演した。

木村さんがかつて北海道小樽市で行ったまちづくりなどを事例として紹介し、「地域活性化には全員を巻き込んで大きなうねりをつくるのが大切」などと話した。また、農業に関して「これからは、農業だけを考えたいはいけない。売るま

での間にどれだけ付加価値が付けられるか、そこにビジネスの余地がある」などと語った。

トークセッションには山口上席企画官のほか、林和雄白子町長、宮司で元NHKアナウンサーの宮田修さん、茂原商工会議所の大谷寛子常議員と山内みどり女性会長が参加。「茂原にはお土産や名所がない。お土産を含めて観光を活性化させたい」「10人中9人が『これはダメだ』と言っても、試してみなければ分からない。若い人にはチャレンジ精神を持ってほしい」などと、活発な議論が交わされた。

質疑応答では、大網白里町の住民が週末農業者の活用を提言し、そのための農地法の規制緩和を求めた。